

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」網島校		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 20日		～ 2024年 12月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	42名	(回答者数) 36名
○従業者評価実施期間	2024年 11月 20日		～ 2024年 12月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さんが楽しんで通ってくれるような環境づくりと支援体制	お子さんが好きなキャラクターを支援教材に取り入れたり、モチベーションが上がるようにご褒美シールを作ったりしています。また、抵抗感のある課題に対しては好きなことやキャラクターから無理なく挑戦できるように工夫しています。	職員間で情報共有をしながら、お子さんの好みが変わったり挑戦出来たこと、なかなか難しかったことを把握して支援内容を相談していきます。
2	保護者の方が相談しやすい環境づくり	お子さんの支援を見ていただきながら最近の様子を伺ったり、保護者の方のお悩みなどを気軽にお話していただけるような環境作りを心掛けています。また、支援中だけでなくLINEや電話などでも対応させていただいております。	保護者対応の研修など積極的に参加をし、職員全員で保護者とお子さんのフォローができるよう努力していきます。また、お伺いした内容は共有し支援内容に反映させていただいております。
3	お子さんに寄り添った支援内容	その日のコンディションにより、普段できていること、好きなことも思うようにいかないことがあります。いらした時、最初に保護者の方からその日の様子をお伺いして支援内容を急遽変更をすることもあります。	支援が終わってからすぐにミーティングをすることは難しいですが、隙間時間やツールを使って情報共有をしています。そこから普段の様子をしっかり把握し、少し違った様子の日の対応を確認しています。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所が2階にあるがエレベーターがない	エレベーターがない為、バリアフリーの環境とは言えない状況です。	手すりはありますが、階段に危険がないよう日常的に気を付けています。また、部屋の中は段差や躓きがないよう環境を整えています。
2	事業所内のスペース確保が難しい	放課後等デイサービスのお子さんは最大3名受け入れをしています。パーティションでスペースを区切り自由に動ける範囲をわかりやすくしていますが、広いスペースは確保できていない状況です。	周りのものが気にならないよう、常日頃から整理整頓に努めています。また、小集団では最大4名の受け入れをしておりますが、その際はパーティションなどの配置を変えて行っています。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	こどもサポート教室「きらり」網嶋校
------	-------------------

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数

39名

回収数

39件

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	32	2	0	2	利用する人数の調整・パーティションで区切り、スペースの確保が出来る様配慮を行っています。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	36	0	0	0	たまに1人電話対応で欲しい時がある	法令が必要とされている配置数に加え、指導員または保育士を1名以上(常勤換算)配置しています。支援の妨げにならないよう、電話対応の方法は改善して参ります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	27	5	2	2	ビルの階段は少し危険と感じたことがあります。	エレベーターのないマンションの2階教室のため、設備として外階段による制限が出てしまうのが現状ですが、教室内に段差はなく、バリアフリーとして、安全面への配慮をしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	33	1	0	2		教室内の生活空間においては、バリアフリー・クッション材を使用し安全面への配慮を行っています。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	34	2	0	0		どの職員でもお子さんの特性、状況に合った支援ができるよう今後も努力して参ります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	30	2	0	4		支援プログラムは校内に掲示し、保護者のみなさまが分かりやすいものになるよう努力いたします。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	36	0	0	0		お子さんに合わせカスタマイズした支援計画の作成を行っています。保護者様のニーズや課題への客観視が出来る様、個別シートを利用して定期的にニーズを確認できるよう、適宜実施しています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	32	3	0	1		ガイドラインの教室に掲示をしています。お子さんの個別支援計画をご説明させて頂く際に、より分かりやすく支援に必要な項目の選択・支援内容の設定を説明できるよう、一層の努力を致します。また、ご理解頂けるよう丁寧な対応を心がけます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	33	0	0	3		支援計画に添い、支援を実施しながら、変更があった場合は、見直し期間に関わらず随時変更し、了承頂いた上で支援を実施しています。ご利用の頻度に関わらず、ご理解が得られるよう、説明や支援後のフィードバックを丁寧に実施していきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	31	5	0	0		毎回同じではなく、その時のお子さんの様子や気分にも合わせ、臨機応変にお子さんに合わせた工夫をしています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	10	5	15	6	きらりを通じては交流していませんが、個人で交流・活動しています。	個別療育が基本のためお子さん同士の交流機会は実施しておりません。要望や必要を感じていないというご意見もありますが、関係機関との連携は要望に合わせて、実施しています。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	36	0	0	0		面談時や契約更新時に丁寧な説明を心掛けています。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	36	0	0	0		契約時、または支援計画更新時に合わせ、計画書を用い、説明を実施しています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17	6	4	9		研修会として設定はしておりませんが、毎回の支援後のフィードバックにてペアレントトレーニングとしてのアドバイスをしています。また、定期的な面談や事業所内相談のご提案をさせて頂き、家族支援を実施しています。

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	34	1	1	0		公式 LINE やメール、電話等を利用し共通理解の補いに工夫をしています。また、支援のフィードバック時間や見守りの時間を有効に使い、ご家庭での状況確認や課題・取り組みについて共通認識を持てるよう連携を強化していきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	35	1	0	0		定期的にお声掛けしながら面談や相談を実施していきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	34	2	0	0		お子さんにも保護者のみなさまにも「分かってもらえた」と感じていただけるよう尽力してまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	5	11	10	あるといいなと思います。中学校のことなど聞きたいです。	ご希望に合わせ、オンライン上でのつながりなど、工夫をし連携した支援が出来る様ご要望に応じ、開催を検討しています。個別療育であることもあり、希望を遠慮とされる方のご意見も尊重した取り組みとしています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	30	1	0	5		ご要望・ご相談には可能な限り丁寧に迅速に対応させて頂き、より良いサービスの向上に努めています。また、事業所内に設置しております意見箱を利用し、事業所に受付者・解決責任者を選任する等、苦情受け付け体制を整え、専用の受付窓口を設置しています。頂いた苦情に対し、社内フローを定め迅速かつ適切に対応しています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	30	1	1	4	面談や相談用にパーテーションがあると いいです。	支援後のフィードバック時間を利用し、実施しております。そのほか、公式 LINE やメールなどを活用し情報伝達を実施しています。また、お子さんや保護者様のニーズに合わせてメールや連絡帳も利用しています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	33	1	0	2		毎月、つなしま通信の発行とブログにて支援の内容や活動内容の報告を実施しています。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	33	1	2	0		個人情報に記載された書類は鍵付きキャビネットに保管しています。また、個人情報にアクセスできる端末はパスワード設定をする等、適切な対応を行っています。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	26	4	1	5		マニュアルを策定し、研修を実施しています。保護者様への周知はわかりやすいよう、工夫をし、改めて説明を実施して参ります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	27	1	0	8		月 1 回の避難訓練を実施しています。また、非常食・水等の常備を行っています。情報共有などに発信を定期的に行っていますが、災害への備えとして、安心してご利用して頂けるよう、周知の仕方を工夫し実施して参ります。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	31	0	0	5		安全確保の計画について契約時の重要事項説明書にて説明をさせていただいておると共に、保護者様にご覧いただけるよう校舎内に資料を保管するなど周知に努めて参ります。
26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	29	1	0	6		保護者様が外出される際はフィードバックにて状況・対応の説明をさせていただいております。校舎内にいらっしゃる時も都度報告をしております。事故や怪我がないように努めて参ります。	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	36	0	0	0		継続していただいているお子さんにもご利用開始したばかりのお子さんにも、安心していただけるよう、職員の対応や環境づくりの向上に引き続き努力して参ります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	33	3	0	0	楽しみで仕方がないようです。 とても楽しみにしています	目的意識や楽しみをもって、自ら進んで支援を受けて頂けるよう、努力し引き続き取り組んで参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	34	2	0	0	いつも母に気を使ってくださって本当にありがたいです。 いつも快く相談にのってくださり感謝しています。	お子さん・保護者様も含めご満足いただけるよう今後とも丁寧な支援やフォローを実施します。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」網島校		公表日		2025年 2月 15日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		法令を遵守したスペースを確保していますが、支援内容に応じて個別ブースのスペースを変更して支援をしています。	二重扉によっては、狭さによって制限が出てしまっていることも事実であり、今後の取り組みへの課題です。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		法令で必要とされる配置数に加え、指導員または保育士を1名以上配置（常勤換算による算定）しています。	現時点では、体調不良などの急なお休みが出てしまうと支援数に対して最低限の職員配置となってしまいます。今後職員を増やしていく予定です。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		教室内には段差はなく、机の角にクッション材を使う等、配慮を行っています。	2階の教室のため、制限が出てしまうのが現状です。必要に応じて、職員が階下へ迎えに行くことで対応しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の清掃・消毒を実施しています。感染症対策に検温の実施、都度手洗い消毒を行っています。	感染症流行時のうがい手洗い・アルコール消毒の慣行、定期的に換気を行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		完全な個室はありませんが、個別に過ごせるようスペースの確保をしています。	別室を設けることが難しい為、すぐに個別のスペースが作れるようパーティションや家具の配置を工夫しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		日々の振り返りのほか、月次で会議のほかに改善活動報告を実施しています。	月次で職員参加の改善活動会議の実施を継続するほか、活動報告への取り組みへの評価を頂いています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的な実施と公表を実施しています。	保護者様へ満足度調査アンケートを実施し、業務改善につなげています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日々の業務の中で報告・相談を行っています。	定期的に面談をする機会を設け、校舎全体の環境や業務の改善に努めています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		以前は外部講師による巡回指導を受けていたが、今年は実施していません。社内の巡回のみ実施しています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		発達支援研究所の定例研修の他、外部研修にも積極的に参加し、内部研修に活かし実施しています。	入社時は初任者研修、その後毎月の定例研修を実施しています。外部研修にも積極的に参加し、資質向上を目指しています。	
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		校舎内の手に取りやすい場所に掲示いたします。	職員間で相談・作成し、校舎内に掲示すると共に、保護者様に周知していただけるよう努めていきます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		統一したアセスメントシートを利用しています。	計画期間ごとにアセスメントを実施し、個別支援計画の作成をしています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員全員で話し合いをしながら検討をしています。	シフト制の為一度に集まったの会議は難しいですが、日を分けて話し合いをすることで計画を作成しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援計画にそった支援について、検討の場を設けています。	支援記録を作成し、共有することで次の支援につなげています。また、児童発達支援管理責任者を含め、直接支援指導員とのMTGを行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		統一したアセスメントシートを利用しています。	計画期間ごとにアセスメントを実施し、個別支援計画の作成をしています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		お子さんに必要な支援を選択し、設定をしています。	アセスメントに基づき、個別支援計画を作成し、少なくとも6か月毎にモニタリングを実施して、必要な支援内容の選択を行い、具体的な内容の設定をしています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		当日の支援担当の指導員のみではなく、相談・検討する場を設けています。	お子さんの事例を共有・議論するケース検討会を開催しています。	

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		お子さん一人ひとりの特性や気持ち・興味に合わせ効果的に楽しく学べる指導を追求します。	次の学びになる成功体験を重視し、お子さんが自発的に適切な行動をとれるよう、学びやすい指導環境づくりとして、適宜プログラムの変更をしています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別支援・小集団支援を適宜実施しています。	アセスメントを基に、適宜必要に応じて集団活動を組み合わせた個別支援計画を策定しています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		小集団の際は事前に MTG を行っています。また、業務状況に合わせて MTG を実施しています。	業務によって MTG が実施できないこともあり、職員間での情報共有のツールを利用し確認等を行っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		職員間でお互いアドバイスをよくもらっています。業務に合わせ、MTG の実施をしています。	空き時間が少なく業務によってミーティングが実施できないこともありますが、短時間での報告で共有をしています。職員間での情報共有のツールを利用し確認等を行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎回の支援記録をとり、共有しています。	毎回支援記録をとり見直しを行うことで、お子さんの成長や取り巻く環境の変化に合わせて支援内容や方法を更新しています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		事業所内・保護者様を中心に実施しています。	事業者内・保護者様とともにモニタリングを行い、計画についての PDCA に沿って判断・検討を行っています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			アセスメントを基に優先順位をつけて長期目標と短期目標を設定した個別支援計画を策定し、支援を行っています。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		使う道具、取り組む順番、やりたいことなどお子さんが意見を出しやすい声掛けに努めています。	自分の考えを相手に伝える練習も含めて、自分で決める、選ぶことができるよう工夫を続けて参ります。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		計画相談をご利用のお子さんが少ない現状です。情報共有の上共通認識を持てるようにしています。	利用されているお子さんの相談支援事業所との連携内容を基に事業所内でのサービス担当者会議を行っています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		保護者様の要望に応じて、関係機関連携の実施をしています。学校側の受け入れに合わせ実施しており、ケース会議の参加や電話での情報共有の機会を設けています。	学校への関係機関連携訪問は保護者様の要望を基に実施しています。支援の様子や集団生活の中での課題抽出を行い、取り組み方やアプローチ方法等の共通認識を持ち、関わりをもてるよう支援を行っています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校の担任の先生や児童専任・スクールカウンセラーの方等のご要望にお応えして学校での支援方法に関するご提案を実施しています。	保護者様のご要望にもお応えしております。情報共有させていただき、支援内容に活かしております。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		保護者様や幼稚園・保育園の意向を踏まえ、情報共有や相互理解を図り支援を実施しています。	保育園・幼稚園と連携をしながら保護者様のご希望により学校と直接連携をとるなど就学の準備に努めております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			まだ該当するケースがありませんが、移行がスムーズにいくよう情報共有させていただきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		横浜総合リハビリセンターとの療育参観での連携を実施しています。	専門機関が主催の研修会やお子さんが通っている通園との連携の際に助言や支援についてアドバイスをいただいています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		個別療育を基本としていることから、お子さん同士の交流の場は設けておりません。	利用されているお子さんが通所している学校や近隣の学童クラブへ、定型発達のお子さんとの活動に幅が広がるよう連携が出来る様取り組んでいます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		児童部会に代表参加するとともに、自立支援協議会主催の行事や研修会にも積極的に参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		毎回の支援後にフィードバック時間を設けています。感染予防に留意をした取り組みに留めています。	支援後のフィードバック時間にご意見を頂戴し、共通理解をもった支援を実施しています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		支援の FB や事業所内相談にて対応をしています。また、ご希望に応じて支援を実施しています。	支援後のフィードバック時間を利用して家庭での対応方法についてアドバイスをし、事業所内相談等にてアドバイスを実施しています。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時・面談時に管理者を中心に実施しています。職員には、研修で情報共有学びの機会を設けています。	運営規定・利用者負担等について、契約時に丁寧に説明するとともに事業所内に重要書類の掲示をしています。	

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保護者様の意向をお伺いし、お子さんが直接伝えることが難しい場合は普段の様子とやりとりの中で汲み取り保護者様に確認をしています。	保護者様のご要望がお子さんの現状とかなり離れている場合は、少し手前の段階を提案させていただくこともあります。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		個別支援計画書を提示しながら説明をし、ご納得いただいた上で承諾のサインを頂いています。	アセスメントを基に優先順位をつけて長期目標と短期目標を設定した個別支援計画を策定しています。ご意見やご要望である主訴の確認をしながら計画に同意を得ています。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		支援後のフィードバック時間や公式 LINE・メール・電話・事業所内相談支援の提案し、相談に対しアドバイスをしています。	児童発達支援管理責任者を中心にご希望に応じて、相談。助言の時間を設けています。また、適宜、事業所内相談のご提案をさせていただきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○	感染予防のため実施出来ていません。例年実施しているママカフェは、ご要望をお伺いしながら計画をしていく予定です。	ご要望に応じて保護者様同士の連携の支援の検討。対面ではなく、オンラインでの実施を検討してまいります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		ご要望に応じて、速やかに対応を行っています。	事業所内に意見箱を設置、受付者・解決責任者を選任する等、専用の窓口を置き、体制を整えています。頂いたご意見は社内フローを定め、迅速かつ適切に対応をしていきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月 15 日を目処につなしま通信(会報)の発行をしています。	会社 HP にて事業所内ブログの発信やつなしま通信の発行を通じて、活動内容の発信や教室内にイベントの案内等の掲示を行っています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		専用鍵付きキャビネットに開閉時のお子さん名が見えないよう工夫し保管しています。個人情報の取り扱いに関するマニュアルの策定をしました。	マニュアルに従い、個人情報が記載された書類は鍵付きキャビネットにて保管をしています。また、個人情報にアクセスできる端末にはパスワードを設定する等、適切な対応を行っています。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		視覚的情報等の活用を行っています。	お子さん・保護者様の状況に応じて、ICT やそのほか視覚的情報などを活用して意思疎通・情報伝達等を実施しております。
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	見学対応は教室開放時間を設けていきます。	支援の様子を公開、教室開放の時間を設けていきます。また、随時HP ブログで支援の様子を報告しています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		教室内での掲示や閲覧書類として周知しています。	訓練の実施について、保護者様理解が得られるよう、周知の仕方の工夫。マニュアルの策定、適宜研修の実施をしています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		月 1 回の避難訓練の実施。個別療育だからこそ全員参加が難しく課題としてきましたが、今年度は全員の参加を目標に取り組んでいます。	月 1 回の避難訓練の実施と地域の避難訓練に参加をしています。保護者様理解を得られるよう、同席を頂き、できる限りの参加をお願いしています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		変更があった場合等、共有頂いています。	面談時にお子さんの様子(服薬の有無)や発作の有無等共有頂き、随時状況を確認しています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		すべてのお子さんに対しアレルギーの有無を確認しています。食事の提供はしていません。	アレルギーの有無の確認とともに、支援時に該当物質との接触が起らないよう留意しています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		定期的な研修と訓練を実施しています。	計画を作成し、職員全員で周知した上で研修や訓練を行っています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時・面談時に説明をしています。	支援中に保護者様が外出している際に何か起こった時は基本的にはお電話で連絡することなど説明をしています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		その都度作成・共有を行っています。お子さんに対するヒヤリハットだけではなく、場所や時間による気づきも共有しています。	日次・月次 MTG にて再確認を行うとともに事例報告時には報告書を作成・保管した上で職員間での共有を行っています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		マニュアルの策定をし、横浜市の虐待防止研修に参加するとともに内部研修を適宜実施しています。	マニュアルを策定、外部研修に参加し、内部研修を適宜実施。さらに社内での虐待防止委員会を発足し、適切な対応の検討と事例検討を行っています。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		マニュアルを策定し、研修を適宜実施しています。	契約時に丁寧に説明を行い、個別支援計画の特記事項に記載をしています。